

進行管理報告書

概要版

平成 28 年 3 月

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 電話 011-211-2139 FAX 011-218-5109

札幌市市長政策室政策企画部



札幌市エネルギービジョンについて

札幌市では、主にエネルギーを利用する観点から、限りある資源を無駄なく使うことなどによる「エネルギーの有効利用の推進」と、身近に広く存在する再生可能エネルギーの活用により、市民自らがエネルギーを創造するなどの「エネルギー転換の推進」を基本的な方向性として、中長期的なエネルギー施策を展開するための指針となる「札幌市エネルギービジョン」を平成 26 年 10 月に策定し、目標達成に向けて取り組んでいます。

札幌市エネルギービジョンの数値目標

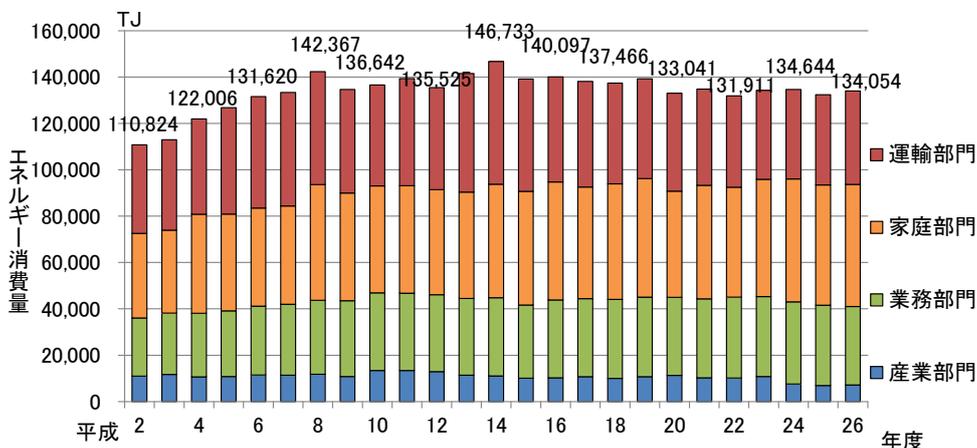
エネルギービジョンでは、次のとおり、「熱利用エネルギー」と「電力」の目標値を設定しています。

熱利用エネルギー目標（平成 34 年度）
年平均 1% 以上の削減⇒15%削減（平成 22 年度比）

電力目標（平成 34 年度）
平成 22 年度の原子力発電分の 50%を省エネ、再エネ、分散電源で転換
(再エネは、市外からの供給を含む)

札幌市のエネルギー消費量の推移

札幌市内のエネルギー消費量（平成 23 年度以降は「新電力分補正後の値」。以下同じ。）は、平成 2 年度以降、増加傾向でしたが、平成 14 年度をピークとして、それ以降はやや減少か横ばい傾向で推移し、近年はほぼ横ばいで推移しています。平成 26 年度は、平成 2 年度比 1.2 倍の 134,054TJ となりました。



※平成25、26年度は速報値

※平成23年度以降は新電力分補正後の値

<資料>札幌市

図 1 札幌市内エネルギー消費量の推移

札幌市エネルギービジョンの数値目標の達成状況

■熱利用エネルギーの達成状況

熱利用エネルギー消費量は、平成 34 年度に平成 22 年度比 15%削減の目標に対し、平成 26 年度は、**平成 22 年度比で 5%増の 61,425TJ**となりました。

家庭部門の消費量が、平成 22 年度比 18%増、前年度比でも 3%増の 40,193TJ となっていることから、目標達成に向けて、家庭部門での省エネルギーをさらに進めていくことが必要です。

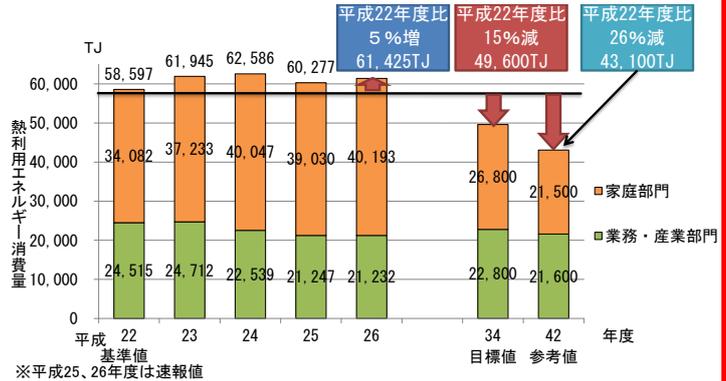


図 2 熱利用エネルギー消費量の達成状況

■電力消費量（省エネ）の達成状況

電力消費量は、平成 34 年度に平成 22 年度比 10%削減の目標に対し、平成 26 年度量は、**平成 22 年度比 5%減の 91.0 億 kWh**となりました。これは、平成 23 年の東日本大震災などをきっかけに、市民・事業者が省エネ・節電を積み重ねてきた成果と考えられます。

目標達成に向けては、引き続き、省エネ・節電の取組を着実に推進していくことが重要です。

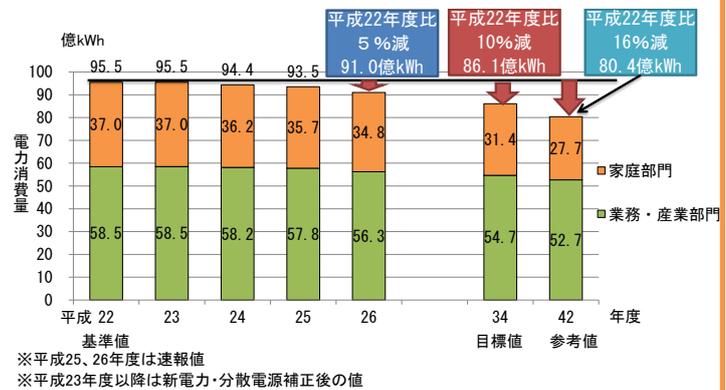


図 3 電力消費量（省エネ）の達成状況

■再生可能エネルギー発電量の達成状況

再生可能エネルギー発電量は、平成 34 年度に平成 22 年度比 4 倍とする目標に対し、平成 26 年度は、**平成 22 年度比 1.2 倍の 1.8 億 kWh**となりました。

中でも太陽光発電の発電量は、平成 22 年度比 3 倍となる 0.3 億 kWh となりましたが、目標の 4.4 億 kWh と比べると、わずかな増加にとどまっています。

目標達成に向けては、今後も市民向けの導入支援に取り組むなど、社会経済状況も見据えながら、導入拡大を図る必要があります。

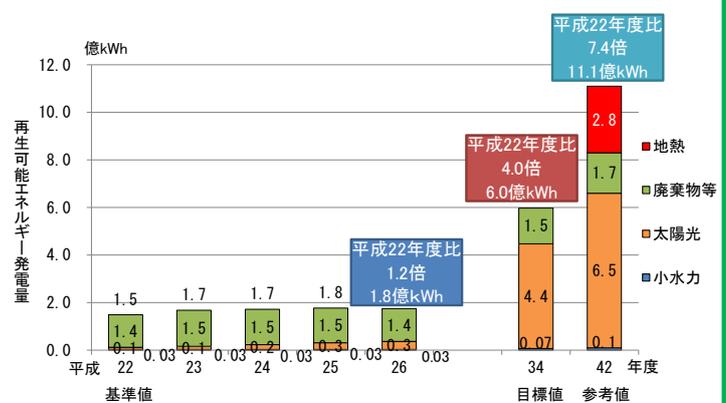


図 4 再生可能エネルギー発電量の達成状況

■分散電源発電量の達成状況

分散電源発電量は、平成 34 年度に平成 22 年度比 2.3 倍とする目標に対し、平成 26 年度は、**平成 22 年度比 1.1 倍の 1.8 億 kWh** となりました。

分散電源は、導入費用が高価で設置に適した施設が限られていますが、再開発等に合わせた導入促進を図っていく必要があります。

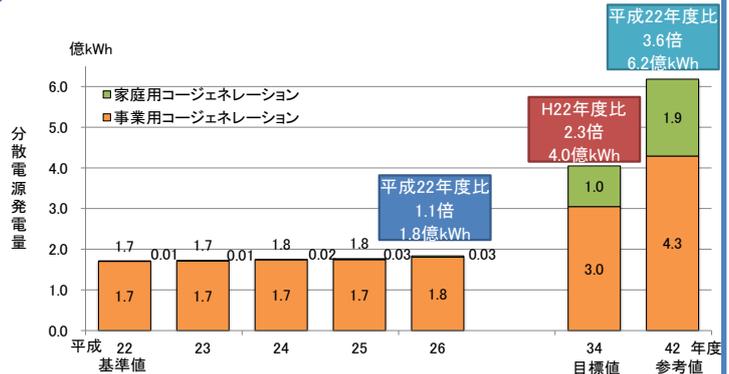
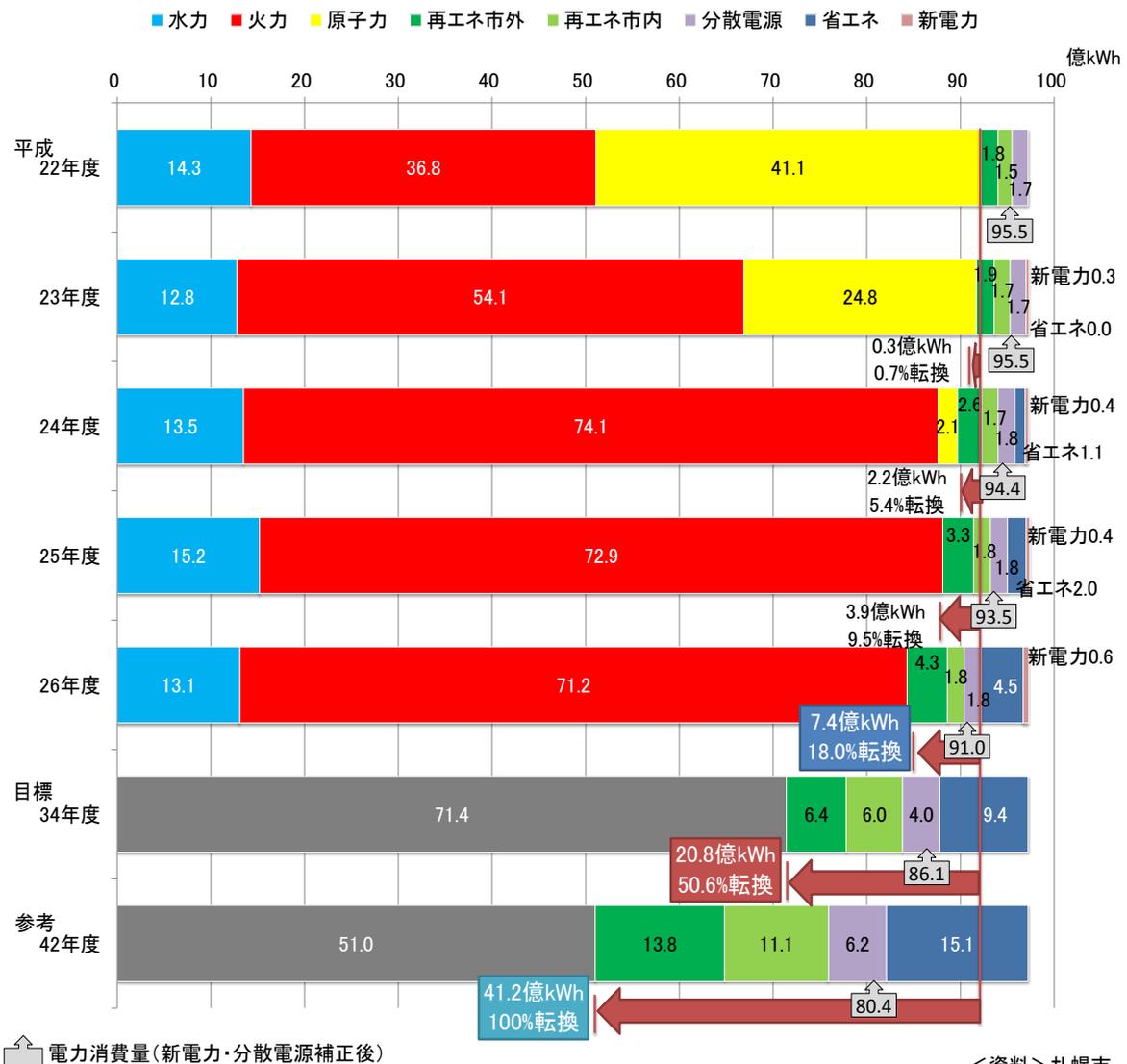


図 5 分散電源発電量の達成状況

■エネルギー転換の達成状況

エネルギー転換は、平成 22 年度の市内原子力発電分 41.1 億 kWh の 50% に相当する電力を、省エネルギー、再生可能エネルギー、分散電源で転換する目標に対し、平成 26 年度の転換量は、**平成 22 年度原子力発電分の 18% に相当する 7.4 億 kWh** となりました。これは、平成 34 年度の転換目標値 20.8 億 kWh の 36% に相当します。



電力消費量(新電力・分散電源補正後)

<資料> 札幌市

図 6 エネルギー転換の達成状況

平成 26 年度進行管理の総括

平成 26 年度は、エネルギービジョンの計画初年度でしたが、目標値に対する達成度を見ると、熱利用エネルギーの削減が▲31%、エネルギー転換が 36%という結果になっています。

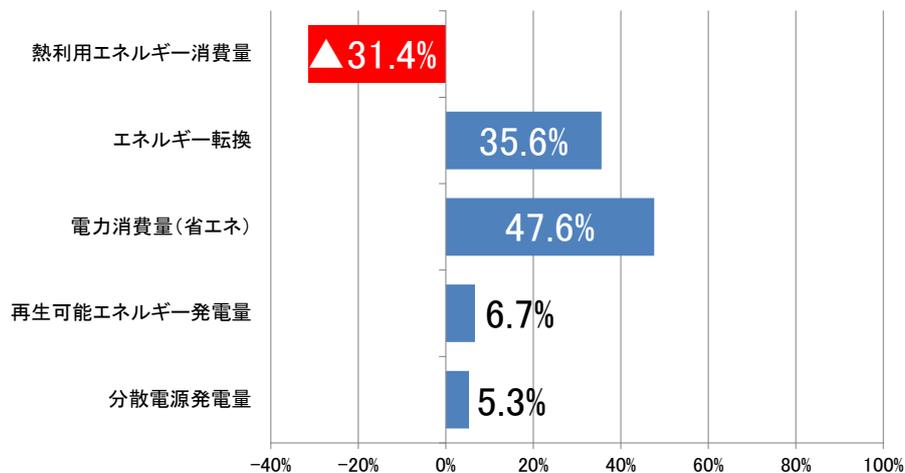


図7 エネルギービジョンの数値目標に対する達成度

上記の達成状況等から、エネルギービジョンの目標達成に向けた今後の取組の方向性について、次のように総括することができます。

■省エネルギーの推進

熱利用エネルギー消費量や電力消費量の削減に向けては、冬期間の家庭の暖房エネルギー消費量の削減につながる「札幌版次世代住宅基準」に適合する高断熱・高気密住宅や高効率暖房機器など、高断熱・高気密な建物の普及や省エネ機器の導入拡大などに取り組むとともに、学校での環境・エネルギー教育や出前講座、キャンペーンなどによる省エネ意識の醸成や、家庭や事業者における効果的な省エネ技術の情報提供・省エネ診断の実施などに取り組んでいきます。

■再生可能エネルギーの導入拡大

現在の太陽光発電を取り巻く状況も踏まえながら、引き続き、市民向けの導入支援を行うとともに、学校などの市有施設への導入に取り組んでいきます。

■分散電源の導入拡大

再開発やビルの新築・建て替えに合わせたコージェネレーションシステムの導入促進を図るとともに、家庭へ燃料電池やコージェネレーションシステムの導入支援を進めていきます。

平成 26 年度の札幌市エネルギービジョンの進捗状況の詳細につきましては、札幌市役所公式ホームページで公開しております進行管理報告書（本書）をご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/energy/vision/report/>